

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	海外語学研修 ウィーン大学
------------	---------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 10 万 円	スーパー、レストランなど
図書費	0 円	
学用品費	約2000 円	現地で教科書を購入
携帯・インターネット費	44000 円	ポケット Wi-Fi の費用
現地通学費	約 7000 円	(大学まで 45分)1 か月定期購入
教養娯楽費	0 円	
被服費	0 円	
雑費	約 5 万 円	お土産代
その他	約 1 万 円	例: 施設の入場料など
その他	円	例:
合計	約213000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本国内で両替 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
空港で借用
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ハンディファンは暑さをしのぐのに役立った。 デビットカードを持っていけばかなり余裕をもって買い物ができる。

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
盗難防止のため、財布をカバンの奥にしまうことや、スマートフォンをリュックと固定する器具を準備して行ったことなど。 実際に犯罪に巻き込まれることはなかった。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

寮に設置されている Wi-Fi は問題ないが、部屋の中でのみ有効であり、通路やエレベーターでは通じないため注意が必要

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

学生寮 ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

個室を出た後共有スペースがあるのだが、そこを出るとオートロックになっているため、カギを必ず携帯しておかないと戻れなくなってしまう。寮のサポートセンターのようなものは特定の時間しか対応できず、夜中などは特に注意が必要。
相部屋ではないが同室の方と、トイレトーパーや洗剤など必需品は共有して使うようにすると楽である。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

留学先での学習で良かった授業名や内容

普段受けていたドイツ語の授業。外国人の人たちは積極的に先生に質問をするため、授業が円滑に進んでいくところが日本よりも良いところだと思う。

課外プログラムについて

特に参加していないため分からない

滞在先・現地での生活に関すること

自分のいた寮はエアコンがなかったため、暑さ対策をいくつか用意していくとよいと思う。朝と夜に関しては冷え込み過ごしやすい。オーストリアは水道の水が飲めるが硬水であるので、苦手な人はスーパーで軟水を購入するとよい。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

自分はドイツ語を 2 年生まで専攻していたことと、ヨーロッパに行ってみたいという思いからオーストリアを選びました。向こうの人たちはとても気さくでフレンドリーです。なので日本でのように周りをうかがうということはせず、積極的に発言してほしいと思います。レストランで注文するときも、必要最低限のドイツ語さえ知っておけば向こうのドイツ語を聞き取れなくても注文ができるし、困ったら英語が通じるのである程度は安心です。滞在先の感想でも述べた通り、カギは絶対に携帯してほしいです。自分は洗濯をしに行くときにフラフラっとカギを持たずに部屋を出てしまい、同室の人に 2 回も開けてもらうという経験をしました。その人がどこかへ行ってしまっている可能性もあるので、注意してください。一緒に行ったメンバーでもモノを盗まれたという人はいなかったので治安はそこまで悪くないと感じましたが、運がよかっただけかもしれないので、警戒は怠らない方がよいかと思います。

ここまで注意点を行ってきましたが、とにかくいい街だったので検討されている方はぜひ行って楽しんでほしいです！外国の文化を知り、自国の文化を知るきっかけになると思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ウィーン大学夏季プログラム
-----	---------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50000 円	カフェやレストラン、ホイリゲ、スーパーで
図書費	円	
学用品費	2500 円	教科書代
携帯・インターネット費	2000 円	事前に日本でSIMカードを買いました
現地通学費	7200 円	(大学まで30分)ウィーン市内一ヶ月乗り放題の券を買いました
教養娯楽費	60000 円	旅行や美術館やコンサートなど(週末に小旅行しようと思い3万円のヨーロッパ5日間乗り放題のユーレイルパスを買いました)
被服費	10000 円	ウィーン大学グッズのトレーナー、半袖など
雑費	2000 円	洗濯代(コインランドリー1回約400円)
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	133700 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にないです。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 事前に近くのお店で両替しました。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIMカード、WiFi)はどのように準備しましたか
事前にヨーロッパ圏で使えるSIMカードを購入しました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
寮にも少しありましたがハンガーは持って行って良かったと思いました。日差しが強いので帽子やUVカットのメガネやサングラスを持っていけば良かったと思いました。

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
事前に調べて注意することをまとめていきました。事前学習で見たビデオで意識が高まり、スマホやカバンを取られないよう注意していました。外出時には前がけショルダーバッグを使い、あまりカバンを椅子に置いたりせず、常に身につけていました。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮の Wi-Fi は接続は安定していました。時々つながりにくいなと感じる時があるのと、寮で洗濯する際に利用するアプリでクレカの登録が寮の Wi-Fi を繋げているとできなかったのに注意です。SIM カードはウィーンでは問題なく利用でき、他の国に行った際にも 3G になる時はあったものの基本的に利用できました。ネットに繋がらなかった時のために Google マップ上で行き先などに旗を立てておくをおすすめします。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
トイレットペーパーや食器洗剤、スポンジなどは同室の子と分けて買うのがいいと思います。朝ごはんや夜ご飯用に大容量の Pasta やパンを買ってシェアしていました。朝晩は外は涼しいのですが、部屋は暑いので荷物に余裕があれば小さめの扇風機があると良いと思いました。部屋も綺麗で寮側のスタッフさんが週に1度掃除をしてくださるので快適に過ごせました。みんな同じ寮だったので心細くなったりせず、部屋の行き来ができたりととにかく楽しかったです。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

留学先での学習で良かった授業名や内容
ドイツ語の授業は1クラス15人程度で様々な国から来ているクラスメイトと交流ができました。授業内容として、ペアワークだけではなく、教室の外に出てクラスメイト全員とコミュニケーションを取ることも多くスピーキング力が求められました。
課外プログラムについて
たくさんの課外プログラムがあり、ネットで予約ができます。無料のものも多く、ドナウ川の散歩やドイツ映画鑑賞、歌を歌うプログラムもありました。
滞在先・現地での生活に関すること
ウィーンはとても治安が良く綺麗な街だと感じました。寮からはスーパーや駅、ウィーンを中心街(観光名所など)も近くとても快適に充実した時間を過ごせました。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私は大学2年生の時にドイツへ短期の語学研修に行こうとしていましたが、コロナの影響で中止となってしまったため、断念しました。その後ドイツ語の勉強のモチベーションは下がっていたのですが、就活を終えオーメージを見ていた時に短期留学の説明会をするお知らせを見つけ、大学2年生のリベンジをしようと思ったことがきっかけです。また、仲良しの先生が人生で一番行った方がよい場所にオーストリアを挙げており、すごく興味があったためウィーン大学の夏季プログラムに申し込みました。

私は実家暮らしで1ヶ月も実家を離れたことがなかったためとても緊張していましたが、ウィーンでとても充実した1ヶ月を過ごすことができました。学生寮での生活は、一人暮らしというよりはシェアハウスのような形で、食料や日常に必要なものを分け合って割り勘して購入していました。宿題が毎日必ず出たのでみんなで部屋に集まってやったりして、少し宿題の量が多い時もありましたがとても楽しかった思い出です。ドイツ語のクラスは、事前のテストで振り分けられ、午前中のみ授業でした。クラスメイトは、韓国や中国のアジア圏やポーランドやウクライナ、ノルウェー、トルコ、フランス、アメリカなど様々な国から来ており、文化の違いなどを会話の中で学んだり直接肌で感じる事ができ、とても刺激になりました。英語で授業を受け、クラスメイトとのコミュニケーションも英語だったため、ドイツ語だけではなく英語の勉強への意欲も上がりました。

平日の午後や週末は自由時間だったため、ウィーンの観光名所を回ったり、ザルツブルクやバツハウ渓谷などのオーストリアの観

光名所や近隣国へ出かけました。どの場所に行っても見たことがない景色ばかりで、気さくに話しかけてくれたりする素敵な人たちにも出会うことができ、とても新鮮で貴重な経験ができました。

1ヶ月という短い期間なので語学力アップよりも人生経験としてこの留学を行いました。カフェなどで店員さんとコミュニケーションを取れたり、値段を聞き取れるようになったり、現地の人との会話の中で知ってる単語がよく出てくるようになったりと少しだけですが自分自身の語学力の成長を日常生活の中で実感できました。違う言語の国に1人きりだと心細いですが、同じ大学の子やウィーン大学の夏季プログラムに参加する他の大学の日本人、また日本語を話せる他の国籍の子などたくさん心強い人たちがいて、充実した研修を行うことができました。1ヶ月という短い期間なので、あっという間に時間が過ぎてしまいましたが、時間を大切に積極的に動くことができたと思います。また時間を作ってウィーンに必ず訪れたいです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ウィーン大学 2022 年夏季
-----	-----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	70,000 円	スーパーなどで食料品を確保すると負担が減ると思います。
図書費	3,700 円	教科書 1 冊しか今回購入しませんでした。
学用品費	500 円	ノートを購入しました
携帯・インターネット費	8,000 円	6000 円(ドコモの海外利用)+2055 円(海外 SIM)
現地通学費	7,000 円	(大学まで 30~40 分) 月間定期の代金です。これでウィーン市内の運行手段はほぼすべてカバーできます。
教養娯楽費	70,000 円	かなりいろいろなところへ行きましたので高くなりました。
被服費	1,500 円	コインランドリーの利用です。
雑費	1,400 円	飛行機に携帯を忘れたときの荷物預け代
その他	356,400 円	例: コロナウイルスに感染した際のホテル滞在費+帰りの飛行機代(おそらく保険でまかなわれると思われる)
その他	12,000 円	例: 家族へのお土産など
合計	530,500 円	コロナにかかった分を除くと 15, 6 万円ほどです。基本的に物価が日本より高いこと、円安が現在(2022 年 8 月現在)進んでいるため高くなっております。円とユーロは 1 ユーロ 137 円で計算し、端数は省いております。

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
得にはありませんでした。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 自宅の近場の両替屋 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
最初の 10 日間はドコモの海外利用プランで通信しておりましたが、海外 SIM を買った方が安価であると知り、その後宿泊していた寮の近くにある T-Mobile の店舗に行き、そこで海外 SIM を買いました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
折りたたみ傘や小さくできるエコバッグ、ビタミン剤などの薬品系、変換プラグ(日本の物とはコンセントの形が違うので)、モバイルバッテリー、首に巻ける枕(飛行機の長い移動時間の味方です)、ビニール袋やジップロック(多めに持つとなお良い)、そして多少の日本食(インスタントラーメンなど)です。これらの物はほぼ必須でした。

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: 保険会社や明治大学の事務所、親など) 特記事項: 現地で新型コロナウイルスに感染したときにどのように行動するべきか細やかに教えてくれました。
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

危険地域になりそうな細い路地裏や、見ただけで危なそうな所には行かないなど。また、持っているバッグは肌身離さず、いつでも視界に入るように体の前に持っていました。犯罪などには巻き込まれませんでした。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

私が宿泊した寮の中の Wi-Fi は特に速度の点や接続の点では問題なく使えていました。カフェなどで Wi-Fi の利用を試みることはなかったので寮の外での Wi-Fi 環境に関しては把握しておりません。

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮	<input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室	<input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 1 人)
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス	<input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
<p>今回の留学で学んだことや手に入れたものはかなり多く、こちらでしか経験できないことや新たににつながる人々との縁など、数え切れないほどのことを学びました。これから留学する人のためのアドバイスとしては、まず健康第一に心がけることですね(帰国直前に新型コロナウイルスに感染してしまった私と言えることではありませんが笑)。そして自分の身や身の回りの物を守ること、その上で積極性を持つことです。海外に行くなら、現地の人と積極的に話すことがかなり重要なことになると私は考えております。事実、私もそのようにしているいろいろな人と関わり交流することができたので、上記の3つをしっかりと心がけてみてください!</p>	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
留学先での学習で良かった授業名や内容	
<p>通常授業の内容すべての質が高く、甲乙つけがたいのですが、強いて選ぶとすればドイツ語の単語にある「性」という物を覚えるために、例えば男性名詞を講師が言ったらみんなで1歩前に進む、という簡単なゲームのような物をやりましたが、これが後に受けるテストに大いに役に立ったと考えております。運動を交えながらやると単語が覚えやすいというのは本当でした。</p>	
課外プログラムについて	
<p>私はまだドイツ語を学び始めて3ヶ月しか経っていないため、初級者コースに入りました。初級者コースだとドイツ語についての課外授業がないので、代わりに学内のピクニックやウィーン市内の散歩、何より特徴的だったのはさすが音楽の都というべきか歌のクラスがあり、驚いたのを覚えています。私は学内ピクニックしか課外授業はとりませんでした。このピクニックが同じクラスではない、よりレベルの高いドイツ語クラスにいる人々との関わりを生むきっかけになりました。だから個人的にはこの学内ピクニックに関しては強く推奨したいと思います。</p>	
滞在先・現地での生活に関する事	
<p>基本的には物価が日本より高いです。レストランでしっかり食べると日本円に換算すると2000~3000円ほどは少なくともかかってしまいます。しかし、パスタやワイン、ビールなどは日本より安くおいしいです。なお、現地の支払い方法ですが、タッチ式の支払いに対応しているクレジットカードを持参したら利便性がグッと上がります。気候に関しては、オーストリアは内陸に位置しておりますので乾燥していて、そのせいか雨が降った次の日の気温が10度近く前日と比べて下がるがよくありますので、長袖は必須です。水道水に関して、水質は硬いですがかなりおいしいです。アルプスから直接引いているということもあってそのままコップやペットボトルに入れて飲んでいました。</p>	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

最初、私はこのプログラムではなく、違うプログラムに参加しようとしていました。本当は英語力強化を目指していたのですが肝心の申込の時に寝落ちし、応募が締め切られてしまったのです。しかし、なにか夏休みで活動したいと思ったとき、このプログラムはまだ申し込むことができたので、アンケートから申し込みました。最初、私は非常に不安でした。なぜならドイツ語についての知識がほぼ無いに等しかったからです。2年生になってから申し込んでも遅くないのではないか、などいろいろ当時は考えましたが、今になって後悔是一片たりともありません。ウィーン市内の美しい景色、過ごしやすい気候、おいしい食事・・・非の付け所がほぼ無いほど過ごしやすく、治安もヨーロッパの中でもかなり良いため危険な目には遭いませんでした。不自由なことは本当に少なかったのです。その上で質の高い授業、自然がいっぱいなキャンパスなど、むしろ日本にいたときよりも快適で充実した生活を送ることができたのです。不便さを強いて挙げれば、公衆トイレが有料なことくらいですね。本当に1日1日が濃密で楽しかったのです。アドバイスとしては、1年生でもこのプログラムに申し込んでも大丈夫で、もちろん3年生、4年生も参加することを勧めます。もちろん、物価のことや留学費用など両親と相談しなければならないこともありますが、参加する余裕がある！という方は躊躇せずに参加してみてください(もし来年もこのプログラムが存在していたら私はまた参加したいです)。ドイツ語を身につけるだけでなく、英語のスピーキング力の強化にもつながります！留学は必ず自分のためになるので是非積極的に参加してください！

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ウィーン大学 2022 年夏季
-----	-----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	70,000 円	
図書費	3,000 円	
学用品費	300 円	
携帯・インターネット費	3,000 円	
現地通学費	7,200 円	(大学まで 40 分)
教養娯楽費	50,000 円	
被服費	7,000 円	
雑費	20,000 円	
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	160,500 円	

渡航準備について

- 1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にありませんでした。
- 2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 現地の両替屋にて日本円からユーロに両替してもらいました。
その他用意したもの: クレジットカード デビットカード
- 3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
Wi-Fi は空港やカフェに基本的に用意されているので困りませんでした。
SIM カードは日本で事前にアマゾンで購入しました。
- 4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
自炊して生活するので、タッパーやサランラップ、スポンジなどなどがあると便利だと思います。
(お皿、包丁、鍋などは寮で準備されています)

現地情報

- 1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
 なし あり(問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
- 2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
特に収集していません。
- 4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)
インターネットで不便さを感じることはありませんでした。

滞在形態関連
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
滞在先の寮は広く、大きな不満点はありませんでした。都心からのアクセスも良かったです。ただ、週に一回しか掃除されないのので、自分で掃除することが必要でした。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
留学先での学習で良かった授業名や内容
ウィーン大学のこのサマープログラムは大変良かったです。英語でドイツ語を学ぶ形式であり、他国の人と友達になれるほど、授業内でコミュニケーションをとります。
課外プログラムについて
参加していません。
滞在先・現地での生活に関すること
毎日放課後にウィーン市内を回っても、ウィーンは飽きないですし、むしろ一カ月では足りない程魅力の詰まった街です。土日には他のヨーロッパの国を訪れるのもオススメです。積極的に動くことがなによりも楽しい&発見の多い留学の秘訣だと私は思います。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

<p>この留学先を選んだ理由は、今思えば大切ではなかったように思えます。コロナ禍の大学生活、海外に行きたくても行けなかった思いを晴らすべく、私はこの留学に参加しました。正直、オーストリアのウィーンというこだわりはなく、「芸術がすごそう」「街並みが綺麗」「ドイツ語」という表面的な理由でウィーンを選びました。</p> <p>しかし、今また留学先を選ぶ機会があれば、必ずウィーンにします。このウィーンのパログラムでウィーンが大好きになりました。</p> <p>留学生活の中で、日常生活ができるくらいのドイツ語を学べます。最後にテストがあり、宿題も毎日ありますが、授業で様々な国の友達ができます。さらに、授業後の午後は空き時間なので、宿題以外は毎日ずっと観光していました。休日にはヨーロッパの他の国にも行けました。治安も良く、人も優しい、環境にも優しい、本当に素晴らしい生活ができました。</p> <p>この留学を志す方々には、全力でこの留学をおすすめしたいですし、応援をしたいです。大きな心配もせず、のびのびとウィーンを楽しんでほしいと思います！</p>

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ウィーン大学 2022
-----	-------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	5万 円	
図書費	0 円	
学用品費	2660 円	
携帯・インターネット費	1400 円	現地SIM購入
現地通学費	7140 円	(大学まで 25 分)
教養娯楽費	10万 円	近隣国に行く際にかかった費用
被服費	15000 円	
雑費	円	
その他	10万 円	例:お土産や現地での利用
その他	円	例:
合計	276000 円	レートにより変動あり

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
なし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:空港で両替 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
SIMカードは、現地で購入した方が安いというもあったので、現地で調達しました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
国際学生証(大学で発行可能→現地で見せると割引になる。通常では、判断してもらえないところもある。) クレジットカード 2 枚(なくしてしまった場合、現金がカードが必要なため) 日本円(カードが使えないお店が国内で多々ある。→現金を多めに両替していった方がよい)

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
事前学習の際に、さまざまなシチュエーションでの危険情報を教えていただいていたので、現地でそういった犯罪に巻き込まれないように毎日防犯対策をして外出していました。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

寮の wifi は、比較的につながりやすく、ですが市内の wifi は、繋がりにくかったです。

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 3人)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
私と同居していた人は、みんな日本人のみだったので、会話も食事も話が通じる同士でした。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
留学先での学習で良かった授業名や内容	
ドイツ語のクラスでの勉強は、他国の人と年齢や性別関係なく学習することができ楽しかったです。また、ドイツ語が全く分からない、学習していない人でも一からわかりやすくドイツ語を教えてくれるので、自己紹介程度のドイツ語を学習することができます。	
課外プログラムについて	
特に参加していません。	
滞在先・現地での生活に関すること	
ウィーンの水は、とてもきれいで水道水を飲むことができます。たまに、日本食が恋しくなることがあるので、多少の食べ物を持参してもいいと思います。	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私は、ドイツ語を専攻しているため、入学した当時からドイツ語圏に留学に行きたいと考えており、この留学を選択しました。コロナ禍の留学ということもあり、滞在国内での不安もありましたが、毎日健康に過ごすことができました。留学を通して、学ぶことは多くあります。私は、今回の留学で現地で交流した各国の学生と意見交換等を通して積極的にコミュニケーションをとることを心がけました。その結果、ドイツ語学習はもちろんのこと、英語を用いて会話することが非常に楽しいと思いました。今、留学を考えている人、留学が初めての人、思い切って一歩を踏み出すことは大切です。留学を通して自分の視野を広げることができ、知ること得ることが多いと思います。また、一緒に行く仲間との絆も芽生え、学部学年を超えて生涯での友達もできるかもしれません。初めて行った国で、私が2年以上学んできたドイツ語の言葉や文化・歴史を肌身を通して実際に感じ、ますますドイツ語圏への興味関心を抱き、今後はさらなる言語学習に励んで行きたいと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ウィーン大学 夏季短期研修
------------	---------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40000 円	
図書費	2500 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1400 円	
現地通学費	7000 円	(大学まで 25 分)1ヶ月定期を購入したのでバス・電車に乗り放題でした。
教養娯楽費	50000 円	美術館や演奏会などがたくさんある為高みます。
被服費	0 円	
雑費	円	
その他	40000 円	例:週末には他の街へ小旅行に行ったので交通費やホテル代などが結構かかりました。
その他	円	例:
合計	約 14 万 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
1ヶ月の滞在なのでピザは必要ありませんでした
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:あらかじめ日本で両替して持って行きました その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
初日に現地の携帯ショップにて購入しました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
タッパーなど食品を保存できる容器。自炊をするならお箸があると便利だと思います。また、持っていかどうかは微妙ですが、ラップがないのが不便でした。食事は現地のもを食べるのもいいですが、多少日本の食料を持って行った方が節約になります。

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?
当たり前かもしれませんが、暗くなってからは一人では歩かないようにしました。寮の周りの治安に少しか不安があったので、二人以上でもできるだけ暗くなる前には帰るようにしていました。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

現地で購入した SIM カードが 10 ユーロで 15 ギガと使いきれないほど容量が多く、回線も良かったので不便には感じませんでした。オーストリアから出るとインターネットが使えなくなりますが、国外では常に二人以上で行動していたのと、あちこちに Wi-Fi があったため支障はありませんでした。

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数2人)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
寮にはエアコンがないので窓を開けるのですが、ウィーンは蜂が多いので、窓を開けていると入ってくることがあります。夜は虫が入ってこないよう窓を閉めていたので暑かったです。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
留学先での学習で良かった授業名や内容	
短期の語学研修だったので、ドイツ語コースしか受けていません。	
課外プログラムについて	
シュニッツェルなどのウィーンの料理を作る課外コースに参加しました。費用はかかるもののアットホームな雰囲気でもとても良かったです。	
滞在先・現地での生活に関すること	
危険なことはありませんでしたが、U6 沿いだったので他のところに比べて少しだけ治安が悪かったです。	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私はドイツ文学を専攻していたので、実際にドイツ語を使ってみたくてこの留学先を選びました。ウィーンはとても過ごしやすく綺麗な街で、治安も悪くはありませんでした。また、お店の人はほとんどが英語を話せます。特にレストランなどは(私たちがアジア人なので)ほとんどのお店が英語で話しかけてくれます。語学学校も英語で基礎からドイツ語を教えてくれるクラスがあるので、ドイツ語をあまり学んだことがない人でも安心して留学に臨めると思います。

日本ではあまり関わりのないクラスメイトには挨拶しないことが多いのですが、語学学校ではクラスメイトと目があったら(たとえ仲良くなかったとしても)とにかく笑顔で挨拶したほうがいいです。段々と友人が増え、向こうからも話しかけてくれるようになります。私は日本のような感覚でいたため、あまり友達が出来ず後悔しました。どんどん会話して、会話に対する恐怖を打ち砕きましょう。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	2022年度 夏季海外語学研修 ウィーン大学(オーストリア)
------------	--------------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	60000 円	
図書費	2500 円	
学用品費	2600 円	
携帯・インターネット費	50000 円	
現地通学費	7000 円	(大学まで 20 分) 1か月間公共交通機関が乗り放題パスを購入。
教養娯楽費	30000 円	
被服費	10000 円	
雑費	20000 円	
その他	70000 円	例: 休日の旅費
その他	円	例:
合計	252100 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にありません。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 成田空港で両替 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
成田空港内にある Wi-Fi ルーター会社でポケット Wi-Fi をレンタルした。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
時々パンやパスタに飽きてしまうことがあったため、日本食(お米、乾麺、みそ汁など)は持って行ってよかった。 マスクは現地で使用が推奨されているものがあるため、日本から準備していったものは使わずに持ち帰ることになってしまった。

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
インターネットで検索するか語学学校のクラスメイトから情報収集していた。しかしウィーンはかなり治安が良く、自分を含め周囲の友人たちも盗難などの被害にあうことはなかった。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

オーストリア国内ではポケット Wi-Fi はほとんど快適にインターネットへの接続ができたが、申し込みプランによって使用できない国があったため休日の旅行でスロバキアやハンガリーを訪れた際には、フリー Wi-Fi を探してインターネットへ接続していた。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2 人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
私は寮のルームメイトが日本人ではなく中国の留学生の方であったため、相手の生活リズムなどに少し気を使いながらの生活ではあったが、時々一緒にご飯を食べたりしながらコミュニケーションを図ることで、他国に留学しているもの同士でウィーンに対する意見交換などができ、非常に有意義な体験をすることができた。語学スキルに自信が無くても、伝えたいという意思を込めて話せば相手は大体理解してくれることが多いため、自分に自信をつけるためにもどんどんチャレンジする精神を持つことが大切であると感じた。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

留学先での学習で良かった授業名や内容
語学学校での授業は基本的に文法メインの授業内容であった。また課題として課されなくても自発的に作文などをして先生に提出すれば文法の間違いやアドバイスなどをしてくれるため、積極的に先生とコミュニケーションを取ることが重要であると感じた。
課外プログラムについて
課外プログラムには参加していません。
滞在先・現地での生活に関すること
分からないことがあったとき自分たちで解決することも大切だが、ウィーン市民は親切な方が多いため積極的にコミュニケーションを取り、自身の語学力向上や自信をつけることにつなげることが重要であると感じた。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

ドイツ語でのコミュニケーション能力を向上させる目的でこのプログラムに参加したが、本研修を通じて自分のアイデンティティとは何か、また「学び」に対する意識が大きく変わったと感じた。ウィーンは様々な国の人々が暮らしているため日常生活を送る中で異文化に触れる機会が非常に多く、そのような環境に 1 か月間という期間身を置くだけでも自分の価値観は良い方向へと変化するため、新しい環境に身を置く挑戦をすることは非常に貴重な経験になると感じた。

また、オーストリアにおいてドイツ語を学ぶことで「標準ドイツ語」ではないオーストリア特有のドイツ語方言などに触れ、「母語」とは何か、そしてそれを考えることによって自身の母語に関するアイデンティティを見つめ直すきっかけにもなると感じ、改めて異文化理解における「言葉」の重要性を感じた。このような経験というものには学生のうちでしかできないものであるため少しでも興味があれば、思い切って挑戦することが重要であると思う。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ウィーン大学派遣型研修
------------	-------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 5 万 円	
図書費	円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	約 4 万 円	
現地通学費	約 7200 円	(大学まで 約 30 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	0 円	
雑費	約 4 万 円	お土産、休日(娯楽費)
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	約 15 万 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
ピザは不要
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で 10 万円を両替してからいきました。現地で両替するより、手数料などがかからないためお勧めです。キャッシュのみのお店や、割り勘などの時に便利なので、現金を持っていくことをお勧めします。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
Wi-Fi レンタルを利用しました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
自分は wifi レンタルを利用したが、sim の方がコスト的にも優れていて、いちいちつなぐ必要もないのでお勧めです。 持っていくべきのもの ・サンダル(部屋用) ・白米を持っていく場合はご飯のお供 ・ガイドブック ・防寒着 ・水筒 ・飛行機用の首枕

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたこ

とはありますか？その際どのように対処しましたか？
インターネット ウィーンは治安が良いので、周りの人もスリなどの被害にはあっていたなかった。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
寮、学校、カフェ、美術館のは簡単に接続できる wifi がある。 地図などを利用する場合は、持参した wifi が必要

滞在形態関連
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 3 人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
個室は用意があるため、プライベート空間は確保できた。自炊器具も一通り揃っている。トイレトペーパーや洗剤は用意がないため、持参か現地調達。 掃除が、週に一回入ると聞いていたが、一ヶ月に一回くらいだったので、気になる人は掃除用具も必要。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
留学先での学習で良かった授業名や内容
授業はレベル別であるため、自分はドイツ語を初めて学んだが、ついていくことができた。 様々な国からの留学生がクラスにいるため、多くの国のことを知ることができる。
課外プログラムについて
街の散歩や、料理教室、映画鑑賞などのプログラムがある。有料のものもあれば無料のものもある。 また、ドイツ語以外に歴史の授業などを追加で申し込むことができる。(有料)
滞在先・現地での生活に関すること
ウィーンは治安も良く、現地の方もとても優しいです。 交通機関もわかりやすく、ウィーン市内であれば迷うことなく一人で行動することまで来ます。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留學生活全般について、留學を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

帰国して約二週間経った今でも、今回のウィーン大学への留学で得たものについてよく振り返ります。今回の留学に踏み切ったのは、大学に入った後、自分の生きている枠組の窮屈さを感じるようになり、敷かれたレールに乗って淡々と日々を見送っていることに気がついたことがきっかけでした。留学を通して、大きな変化があると保証されることはないと分かっているにもかかわらず、一ヶ月を通して自ら学び、感じる姿勢を大事にして留学生生活を過ごしました。そして、自分が生活してきた土地、人から離れ、非日常的な生活を一ヶ月間送ることで、今までの自分を客観的に見ることができたことが、大きな経験だったと思います。その場にいと、当たり前のように感じ、選択肢があるということにさえ気づかないことが、全く違った場所に身を置くと、新たな発見ができるということに気づきました。自分の通ったクラスは様々な国からの留学生がいて、年齢も幅広く、時には子供を連れて授業を受ける姿もありました。日本は、高校を出て、大学を受験し、専門分野を学び、就活して会社につくという定められたレールが普通とみなされ、周りからの視線を気にして、自分を蔑ろにしてしまう傾向があり、自分もその一人でした。これは、日本の大学では、恥づかしいという感情が勝って、授業中も「聞く」という姿勢で取り組むことが多いが、ウィーン大学ではその場で気になったことは躊躇なく理解できるまで質問するという光景を目にした時にも感じました。

学ぶことに「早い」も「遅い」もなく、大事なものは形ではなく自分の心なのだとということを実感しました。今まで周りに合わせて生きてきたこともあって、人と違った道を進むことで苦戦するは多いと思うが、この留学を思い出しながら乗り越えていきたいです。

また、今回の留学生活は毎日が「挑戦」の日々でした。初めてのことで、言語や文化の壁を感じることも多く、何をすることも勇気が必要でした。何かに挑戦している時に、壁に直面することは恐ろしいことであり、諦めることの方が楽だと思えます。しかし、「一歩踏み出す勇気」を持つことで、行動することができ、その先に見えた景色が最高のものであるということを実感しました。自分の気持ちを妨げられていると感じるのは、自分が見ている世界が狭いからであって、少し視野を広げてみれば挑戦することの価値を簡単に見出すことができると思います。挑戦したいことがあり、それが困難な道であったとしても、金銭面の問題以外は、それを諦める理由にはならず、進んでみるべきだということ学びました。

今回、たった一ヶ月という期間でしたが、毎日多くのことを学びました。そして、帰国した今でもこの経験から学ぶことは多く、色褪せない経験となりました。まもなく二十歳を迎え、これからも考えられないほど様々なことが起こると思えます。今まで「普通」と思っていたことに疑問を持ち続け、勇気を持って行動していきたいと思えます。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ウィーン大学 2022 年夏季
------------	-----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	円	
図書費	円	
学用品費	5000 円	
携帯・インターネット費	5000 円	
現地通学費	1 万 円	(大学まで 分)
教養娯楽費	25 万 円	
被服費	1 万 円	
雑費	円	
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	28 万 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか

パスポートの新規発行は最初にすべき。運転免許証の更新日や住所変更の有無に注意。

2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 成田で 3 万円ほど

その他用意したもの: クレジットカード デビットカード

3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか

現地で SIM 調達すると安く抑えられるし、ポケット Wi-Fi を持つことに比べて荷物が減る。

店員には「SIM が欲しい」よりも「新しい電話番号が欲しい」と伝えたほうがうまくいく可能性がある。ただし、自分の携帯の SIM ロック解除を忘れずに。

4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

紫外線が比較的強い。恥ずかしながらサングラスを持っていくことを勧める。帰りは荷物が多くなるうえ、パッキングが面倒になるので空のポストンバッグを持つと安心で楽。

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし あり (問題の内容や相談した人等: 友人)

特記事項: 預けた荷物の引換証を失くした。受付にバックの特徴や中身を伝え、信頼性を担保した。

2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

自分の死角に入らせない。エスカレーターやエレベーターで壁側に背中を向ける。キョロキョロせずに周りを観察する。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

寮ではほとんど問題はなかった。しかし、携帯いじるひまがあったら街に出るもしくは他の留学生と話すほうが面白いと思う。

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 4人)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
冷蔵庫のものはみんなのもの。食われなくなきゃ自分の部屋に置いてくべし。基本土足なので部屋用のサンダルがあると便利。一汁三菜なんてしているのは日本ぐらいで、偏った食事を数回すればバランスの良い食事になる。キッチンや共用部は気づいた人がきれいにすると心地が良い。シャンプーとかは気にしなければ現地で買える。大きいのを買って一緒に使うのもよし。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
留学先での学習で良かった授業名や内容	
語学クラスは世界中の学生が集まって面白かった。先生もドイツ語と英語で説明してくれるので親切だった。	
課外プログラムについて	
初期のプログラムに参加するとよい。交流する人が増えるし、そして終盤になってくるとひとが集まらない。	
滞在先・現地での生活に関すること	
郷に入っては郷に従え。現地人と同じ行動をして馴染もうとするが吉。最後に名残惜しいと感じたり、反対に二度と来るかと思ったら留学は大成功と考えてもらっていい。なにかしら持ち帰ることが大切である。	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

歴史のある街に留学をすることはとてもおもしろい。人や社会からその街の辿ってきた歴史が垣間見られる瞬間がある。さらに学生で留学するのは、自分のためだけに留学できる最後のチャンスではないだろうか。多感な時期の留学は良いと聞くが、多感な時期ではなくて多感でいられる最後の時期なのである。新しい自分は見つけられないが、新しい社会での自分は見つけられるチャンスは大いに期待できると思う。生活や就活、お金の心配は少なくともあるだろうが、その心配をするのは申込の後だ。迷っている時間が一番もったいない！

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ウィーン大学 2022 年夏季
-----	-----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	53,000 円	間食も含む。
図書費	0 円	
学用品費	2,590 円	現地の授業で使用するテキストブック
携帯・インターネット費	1,400 円	現地で SIM カードを購入 (15GB/1 か月)
現地通学費	7,140 円	(大学まで 20 分)ウィーン市内乗り放題チケット (Monthly Ticket)
教養娯楽費	50,000 円	施設の入場料や交通費
被服費	17,030 円	基本的に必要ないが、現地のファッションに慣れて買ってしまう。
雑費	7,000 円	洗濯代、文具など
その他	21,060 円	例:お土産
その他	円	例:
合計	159,200 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本の金券ショップと現地の両替所で合計 4 万円両替しました。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
現地で SIM カードを購入しました。(15GB/約 1,400 円)
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ハンガー(備え付けられている場合もあるが、自分の部屋にはなかった)、ドライヤー、風邪薬、S 字フック、ジップロック、ビニール袋(ゴミ袋用)、洗濯用ジェルボール、クレジットカード複数枚(できれば VISA)、ウェットティッシュ、日本のお菓子(配ると喜ばれる)

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
大使館などの情報から知識を得ました。オーストリアは治安が良いですが、荷物から目を離さない、暗くなったらなるべく出歩かない、貴重品はバッグの底の方にしまう、など気を付けました。また、犯罪に巻き込まれることはありませんでした。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
カフェや鉄道など、Wi-Fi スポットが多くあるので困らない。自身は SIM カードを使っていたが、つながったのはオーストリア国内のみだったため、国外へ行ったときはポケット Wi-Fi を持っている人と行動した。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

学生寮 ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 1 人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

広さが充分にあり、備品もそろっているため快適に過ごすことができる。冷房がなく、ヒーター(暖房)のみある。現地の 8 月は日本よりも暑くなく、湿気も少ないため冷房なしでもなんとか生活できる。寮に洗濯機と乾燥機が 4 台ずつあり、空いている時間を見計らって利用する。食器や調理器具がそろっているので自炊することができる。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

留学先での学習で良かった授業名や内容

初心者クラス(A1)は、私が日本で一年生のときに第二外国語で学習した内容とほとんど同じでした。

課外プログラムについて

郷土料理体験や街歩きツアー、映画鑑賞、異文化理解プログラムなどがあった。

滞在先・現地での生活に関すること

平日の午前中に授業があり、午後は宿題・ウィーン市内の観光・洗濯・食料の買い出しなどを行う。土日は鉄道で近隣国やオーストリア国内へ足を運んでいた。ドイツやハンガリーなど鉄道で2~4 時間ほどで行くことができる。オーストラリアはレストランなどの外食費が高いため、自炊することで節約を心がけた。スーパーマーケットがそこら中にあり、買い出しには困らない。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私は 4 年生で就活の真っ最中であるにもかかわらず、学生で最後かもしれないこのチャンスを逃したら後悔する！と思いこの留学を決めました。直前まで行くか迷っていましたが、今では参加してよかったと心から思います。私が参加したプログラムは一か月のドイツ語留学でした。良いところは、世界中からドイツ語を学びに来ている生徒たちと一緒に、とてもインターナショナルな環境で学べるところです。私のクラスは 9 か国から集まって共に勉強していました。英語の留学となるとアジア圏からの留学生が多いイメージですが、ドイツ語留学は英語圏やヨーロッパの周辺国など実に多様な国の人々が学びにやってきます。いろいろな文化を持つ人たちと交流できることが、このプログラムの最大の魅力だと感じました。しかし一か月という期間は私にとって少し物足りないと感じました。

オーストリアという国に関しては、本当に素晴らしいです。最も好きな国になり、また絶対訪れたい！と思うほどです。ウィーン市街全体が歴史的な観光地となっていて、西洋文化や美術・音楽・建築物が好きな人にとってはたまらないと思います。オーストリアは 7 か国と隣接しているので、土日にはプチ旅行もできます。私も平日はウィーン市内、土日は海外へ行って過ごしていました。

私は日本では得られないような人生のヒントを見つけたいと思い、今回留学をしました。日本とは離れた文化の国で生活することで、日本の視野の狭さを感じました。あの日留学していればなあ…と後悔しないためにも、ぜひ思い切って留学してみてください！

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	2022年ウィーン大学夏季研修
-----	-----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	152345 円	
図書費	3043 円	
学用品費	256 円	
携帯・インターネット費	2330 円	
現地通学費	7032 円	(大学まで 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	0 円	
雑費	23459 円	
その他	0 円	例:
その他	0 円	例:
合計	188465 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
大学やウェブサイト等での指示に従っていれば困ることはありませんでした。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの:クレジットカード とデビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
現地の通信業者の販売代理店から直接購入しました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
sim カードは日本から購入して持って行っても使えなかったため、現地で買ったほうがよいと思います。

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
なし (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?
外務省のホームページから情報収集をして、現地がどのような状況か把握することに努めました。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

国をまたいだ移動の時は、eu データローミングが使用できたおかげでかなり助かりました。

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
学生寮	
2)部屋の形態	
相部屋(同居人数 3 人)	
3)共有部分	
トイレ、キッチン(自炊可)	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
	数人で止まった相部屋でしたが、非常に快適に過ごすことができました。同室にいたポーランドの方が大変面白く、価値観の違いにも触れることができました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
留学先での学習で良かった授業名や内容	
	ドイツ語を実際にしゃべって練習する授業。
課外プログラムについて	
	寮生活に精一杯で、参加できなかった
滞在先・現地での生活に関すること	
	物価が非常に高かったように感じられました。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

日本においても、基礎文法ぐらいは押さえていったほうがよかったかなと感じました。現地で一緒に授業を受ける仲間は、一番下のクラスであってもすでにもう 1 年以上勉強してきた人が大半でした。長く勉強してきた分だけ基礎の習得は圧倒的に早く、追いつくのにかなり苦労した思い出がありますので、とにかくしっかり勉強していったほうが良いように感じられます。

留学先で最も印象に残り、うれしかったのは、日本以外から来た留学生と仲良くなることができた点でした。お互いの国の母国語を話すのは難しかったために、英語を用いての会話となりましたが、自分のことや将来について話し、仲を深めることによって、一緒に行動することができるようになったのはとてもうれしかったです。